



地域医療連携だより

H17.9
第7号



兵庫医科大学病院

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号
TEL.0798-45-6111(大代表)
TEL.0798-45-6001(地域医療室)



病院長 山 村 武 平
副院長 谷 澤 隆 邦 (診療体制 地域医療担当)
太 城 力 良 (危機管理 経営企画担当)
山 田 繁 代 (療養環境 職員研修担当)

理 念

兵庫医科大学病院は、安全で質の高い医療を行い、地域社会へ貢献するとともに、よき医療人を育成します。

基本方針

- 患者の立場に立った医療の実践
- 人間性豊かな、優れた医療人の育成
- 高度で、先進的な医療や医学研究の推進
- 健康増進活動による保健・福祉の推進
- 地域の医療機関との円滑な連携

診療科からのお知らせ

〈腎臓病教室のお知らせ〉

内科学 腎・透析科

当院では腎臓病の患者さん（慢性腎炎、糖尿病性腎症、ネフローゼ症候群、慢性腎不全等）とそのご家族を対象に、腎臓病教室を毎月開催しています。多くの腎臓病は進行性で放置すると透析療法を必要とする末期腎不全に進行していきます。そのため、この教室の目的は、腎臓病の進行をできるだけ抑制して透析療法への導入をできるだけ先に延ばすために、患者さんとそのご家族が腎臓病について正しい知識を学ぶ機会を提供することにあります。

兵庫医大における腎臓病教室の特徴は、共通した目的をもった異なる分野の専門家が、それぞれの立場から患者さんの指導を担当することです。医師や看護師、薬剤師、栄養士、ソーシャルワーカー、移植コーディネーター、検査技師が、さまざまな方向から患者さんの理解を助けるようにプログラムを組んでいます。また月～金曜日の5日間各1時間ずつの受講によって、患者さんに腎臓のしくみ、腎臓病の病態と治療、腎不全患者への社会的サポート（腎移植や福祉制度）をより深く理解していただけます。

参加について—

どなたにも参加していただけます。(火曜日の集団栄養指導のみ費用がかかります) ご都合のよい日だけの参加や、別の月の参加も可能です。受講に際しては当院でカルテを作成しますが、受講後は今まで通り元の病院・医院へ通院していただきます。必要があれば専門医からのアドバイスも行なっております。

お問い合わせ先—

予約が必要ですので、兵庫医科大学病院 腎臓内科外来までお申し込みください
もしくは兵庫医科大学 腎臓病教室 事務局 (0798-45-6525) 10~16時まで

予定—

平成17年10月3日(月) ~ 7日(金) 11月14日(月) ~18日(金)
12月5日(月) ~ 9日(金)
平成18年1月16日(月) ~20日(金) 2月13日(月) ~17日(金)
3月13日(月) ~17日(金)



新任教授の紹介



リハビリテーション部 道 免 和 久

平成17年4月1日付で藤原誠前教授の後任として、リハビリテーション医学の教授に就任致しました道免和久と申します。

私は昭和61年に慶應義塾大学を卒業後、すぐにリハビリ科に入局しました。神経内科、循環器内科、整形外科等を研修医としてローテーションし、その後は慶應大月が瀬リハビリセンター、埼玉県総合リハビリセンター、東京都リハビリ病院等で、スタンダードな包括的リハビリ医療を学びました。

脳卒中の機能評価と機能予後予測、運動療法を主要な研究テーマとして、脳研究を中心とした研究所に留学後、平成12年に兵庫医大に参りました。

リハビリ医療は集学的な治療医学ですので、チームワークが重要です。このチームワークの範囲は病院内に限らず、地域が含まれることは言うまでもありません。特に、脳卒中リハビリに関連した病病連携、入院リハビリ終了後の病診連携、介護保険・福祉への橋渡しなど、リハビリ医療では地域連携が不可欠です。幸い平成16年から、当院は阪神南圏域リハビリ支援センターに指定され、地域のリハビリ関連施設や団体との連携を推進する役割を担わせて頂いております。支援センターが主催する公開研修会や連絡協議会等を通して、さらに地域各機関の皆様との連携を強化して参りたいと考えております。何卒、よろしくお願い申し上げます。

治療最前線

● 内視鏡センター ●

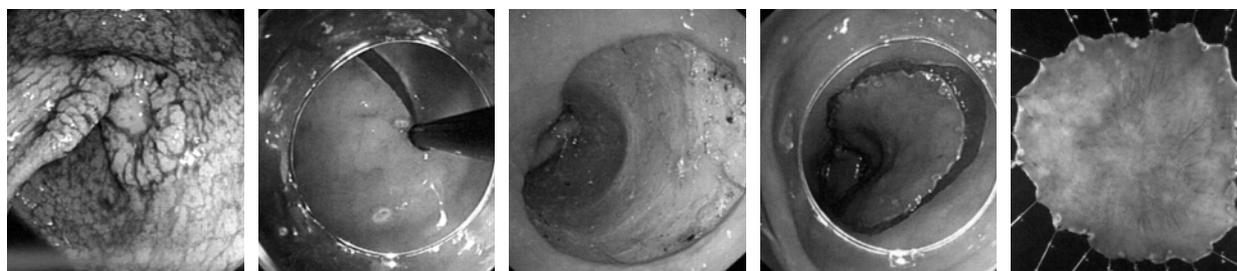
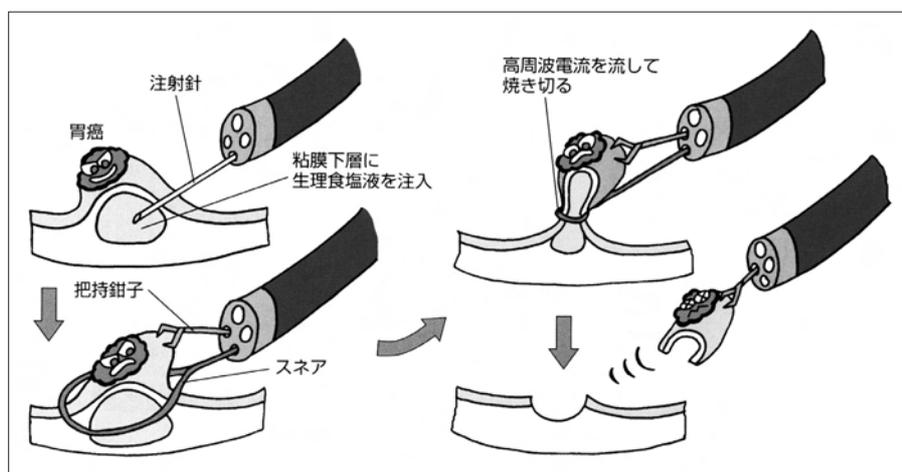
お問い合わせ・紹介先 消化器内科（木曜日） 担当医師：坂上
電話（0798）45-6200

当院で行っている胃癌の内視鏡治療についてご紹介いたします。

まず胃癌においてどの様なものが内視鏡的に治療可能なのでしょうか？

内視鏡的治療では局所のコントロールは可能ですが、転移しているような症例は根治性が得られぬため適応外となります。すなわちリンパ節転移の可能性がほとんど無く、腫瘍が一括切除できる大きさと部位にあるものが内視鏡治療の適応となります。これは具体的にはどのようなものになるのでしょうか？日本におけるエビデンスに基づいた日本胃癌学会の胃癌治療ガイドラインにおいては①2 cm以下の肉眼的粘膜内がん②組織型分化型がん③潰瘍のないものとなります。これらを満たせば内視鏡治療が可能であります。実際の治療では内視鏡的粘膜切除術（Endoscopic Mucosal Resection:EMR）を行います。これは具体的には図にしめすように行います。即ち粘膜下層に食塩水などを注入し、病変を粘膜ごと浮き上がらせて内視鏡的に切離します。

これまでは一括切除可能なサイズは2 cmまででしたが、内視鏡的粘膜切開・剥離術という新たなEMRの手技も登場し、下図のごとく大きな腫瘍も一括切除が可能となりました。



内視鏡的粘膜切開・剥離術の実際（内視鏡的粘膜切開・剥離法導入マニュアルより）

このため転移がなく完全切除可能な病変として①潰瘍を伴わない全ての分化型の粘膜内がん②潰瘍を伴う3 cmまでの分化型の粘膜内がん③3 cmまでの粘膜下浸潤が500 μ mまでの分化型がんは内視鏡的治療の適応拡大病変に挙げられております。当院でも積極的にこれらの手技を導入し治療を行っております。

外来化学療法室稼働開始のお知らせ



7月1日より治療室（10号館1階）において、内科 呼吸器・RCU科、消化器内科から実施（順次対象診療科を拡大予定）しております。

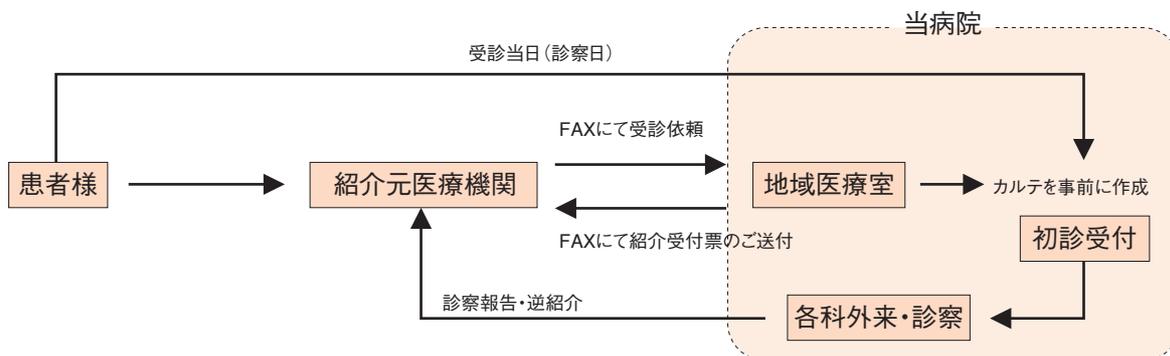
| | |
|--------|------------------------------------|
| 実施場所 | 10号館1階治療室 |
| 実施時間等 | 月～金（祝日除く）の午前8時30分～午後4時45分 |
| 実施診療科 | 内科 呼吸器・RCU科 消化器内科 ※順次対象診療科を拡大予定 |
| 配置職員 | 当該科医師1名、専任看護師2名、専任薬剤師2名 |
| 実施可能人数 | 午前10人、午後10人 |

当院の紹介患者様の予約について

所定の紹介状（診療情報提供書）をご記入後、患者様のお名前（フリガナ）・性別・生年月日・現住所・電話番号・保険情報を受診希望日の前日までにFAXでお送りください。

診察当日に事前にカルテをご用意いたします。

- ・所定の紹介状（診療情報提供書）は、お電話をいただきましたらお送りさせていただきます。また、紹介先がご不明な場合にも、お気軽に地域医療室までお電話ください。
- ・当日の診療申し込みの際は、午前11時までにお越しいただくようお願いいたします。



編集後記

残暑厳しき折、皆様如何お過ごしでしょうか。地域医療室スタッフもこの残暑の中、汗を拭いながら頑張っております。これからなお一層のサービス向上に努めますので、宜しく願いいたします。

(編集委員・地域医療室一同)

◆編集・発行

平成17年9月1日

兵庫医科大学病院地域医療室

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号

TEL 0798-45-6111 (大代表)

0798-45-6001 (地域医療室)

FAX 0798-45-6002 (地域医療室・予約専用)